

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	障がい児（者）支援通所施設 ころ大野事業所 児童通所ころ大野		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 10日		～ 令和6年 11月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	令和6年 12月 15日		～ 令和7年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 27日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小児科経験があり経験豊富な看護師がいる。医療的コーディネーターの資格がある。	保護者や関係機関の方と連携し、医療的ケア児への適切で細やかな対応を行っている。	産休の看護師が戻ってくる、人員募集をしている。
2	理学療法士によるリハビリを行っている。	PTの指導の下活動の中で取り入れている。	産休の理学療法士が戻ってくる。
3	児童発達支援と放課後等デイサービスとの交流がある。	一緒に活動する中で友達やスタッフとのつながりが広がっている。	お互い合うことを楽しみにしている気持ちを大切に、一緒に楽しく活動できるよう支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の人数によってスペースが狭いと感じることがある。	子どもの成長により身体が大きくなってきた。	通路を妨げないようバギーは室外に出し、乱雑にならないよう持ち物等の整理整頓を心掛けている。
2	重症児、医療的ケア児が多く人員に余裕がない。	募集をかけているが、なかなか希望者がいない。	SNSを配信したり待遇改善を検討する。
3	スタッフの平均年齢が高い。	若い世代の人材確保、育成。	SNSを配信したり実習生に魅力を伝え、研修等育成を行う。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 障がい児(者)通所支援施設ところ大野事業所 児童通所ところ大野

公表日 2025年 2月 1日

利用児童数 2024年 11月 15日 24名 回収数 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	2		1	・児発と放デイが重なる時間は利用者が多め ・十分に確保されている	・ご利用者が多い時は特に整理整頓を心がけて雑多にならないようにしていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	1		1	専門性が高く職員の方も親切で安心して預けられる	・さらに充実した支援をしていくために職員募集をしている。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18			1	・各自パーソナルスペースがありわかりやすいと思う ・スロープがありバリアフリー	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1		1	・いつもきれいで清潔にされている	・清潔を保ち、換気扇、サーキュレーターをフル稼働している。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19				・リハビリ子どもの特性に合わせてしてもらっている ・子どもの体調に考慮し支援してもらっている	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18			1	支援内容と合っている	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画や放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	19				・子ども、親の思いをしっかりと聞いて計画をたてている ・子ども、家族の要望を取り入れて作成している	
	8 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19				具体的に設定されている	
	9 児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)に沿った支援が行われていると思いますか。	19				支援してもらっている	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17			2	季節に合ったプログラムを工夫して取り入れてもらっている	
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	3	7	数年前までコロナ禍でしていない	
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1			説明してもらっている	
	13 「児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18			1	説明してもらっている	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8		3	8		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19				・連絡帳や送迎時にお話しする ・お迎えの時にその日の様子を聞き発作、体調の細かな情報を伝えてもらっている	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	3		2	・家族の気付いていないことにも気づき助言いただいている	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				・子どもの体調や状態の変化をよくみている ・支援してもらっている	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1	3	8	・きょうだい向けのイベント、交流があると嬉しい ・きょうだいの日のイベント(プレゼント)にきょうだいも喜んでいる	・きょうだい同士の交流、イベントはできていない、今後検討していく。
19 こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		1	・相談すると対応してもらえる ・いつも丁寧に丁寧に対応してもらっているの で心強い		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18				・子どもに選択させてくれたり好きな物など配慮されている ・子どもの小さな意思表示も見逃さず対応していただいている	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18				・インスタなどで日々の生活を伝えてくれ、季節に合ったイベントや製作など楽しんでいると思う ・インスタ楽しみにしている ・十分注意してもらっている	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16			2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1		1	周知、説明してもらっている	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			1	・避難訓練が定期的、全曜日、全員に対して行われているので安心	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18				・安全の確保は十分されている	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16			2	・今まで事故は無いが、あればすぐ説明されると思う ・事故やケガなく通所させてもらっている	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18				・「ここ好き」とにこにこで行っています。 ・職員みなさん親切で安心	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18				・お友達もでき楽しみで手足をバタバタしている ・そこそがとても重要で毎日感謝しかない。大好きな場所を作ってくださいありがとうございます。 ・家ではできない体験をさせてもらい楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18				・色々な企画を考えられ、子どもも楽しみにしている ・親の体調不良時緊急で見てもらい助かった ・温かさや安心感、成長の後押し等十分過ぎる程です。 ・親子共に安心して過ごさせてもらい大好きな場所です。 ・大変満足している	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	障がい児(者)通所支援施設こころ大野事業所 児童通所こころ大野		公表日	2025年 2月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	整理整頓を心掛けている。	放デイの長期休みの時はスペースが狭いことがある。曜日によっては、子どもの成長と共にスペースが狭く感じる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7		基準の人員しか配置しておらず、呼吸器がいたり重症の児も多く看護師や保育士を増やしたいがなかなか見つからない。常に人員募集を行っている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		入り口は自動ドアになっている。 緊急時など利用者全員に一斉送信できるチャットを活用している。 トイレやお風呂の入口にユニバーサルデザインで表示している。	玄関のスロープの屋根がなく大雨の日は濡れることもある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		清潔を保ち、換気扇、サーキュレーターをフル稼働している。温度湿度計を室内に置き環境調整を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		体調不良時など感染予防のため部屋を分けて過ごす時がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		できることはすぐ対応しすぐにできないことは検討している。保護者へもこちらから積極的に声掛けし話しやすい雰囲気を作っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		より良い業務ができるようできることは改善している。朝の申し合わせの時に、業務改善が必要な場合は話し合いを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法人内では定期的に研修を受けている。 外部の研修にも参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		朝の申し合わせで職員全員で話し合って検討している。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		朝に個別目標を読み合わせ共有し、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7		ツールを活用していない。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		朝の申し合わせで、職員全員で話し合っで決めている。	

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		朝の申し合わせで、職員全員で話し合っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝に個別目標を読み合わせ気をつけることを話している	内容、役割分担の細かい所までは決めておらず臨機応変に行っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	7		毎日行っていないが、事故やヒヤリハットがあればその日のうちに振り返り話し合っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		通所記録に書ききれない時は別紙に記録するようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	【放デイのみ】 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせせて支援を行っているか。	7		イベントで買い物に行ったり、長期休みは散歩に出かけることがある。	
	25	【放デイのみ】 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			現在、法人全体で意思決定支援の研修を受けており、より良い支援を提供できるよう取り組み中である。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		会議の他必要時は質問したり、支援の方法等の情報を共有している。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		必要時は見学に行ったり助言を受けている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	7		機会があれば交流していきたい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	7		
	32	【児発事業所・児発センターのみ】 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	33	【児発事業所・児発センターのみ】 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		送迎時に情報共有したり、学校の先生が見学に来られたり、食事介助の仕方などを伝えに学校に行くこともある。	
	34	【児発センターのみ】 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	36	【児発センターのみ】 （自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	37	【放デイのみ】 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		月間計画等により下校時刻の確認をしたり、送迎時の対応は書面をもらい、送迎時の変更は保護者の方に連絡をもらっている。	
	38	【放デイのみ】 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		担当者会議等で情報の提供をしている。	

	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		7		来年度より参加していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		7	契約書、重要事項説明書にそって説明している。	
	42	児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計画) を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		7		
	43	「児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計画)」を示しながら支 援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている か。		7		
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、 面談や必要な助言と支援を行っているか。		7	定期的に困りごとの有無をお聞きし、相談があ ればその都度応じている。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、 きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	児発は運動会後の懇親会をし、顔合わせの機会 を作った。	きょうだい同士の交流の機会がまだないので検 討していきたい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整 備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れが あった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7	苦情窓口は重要事項説明書に記載、契約時に口 頭で説明している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することによ り、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対 して発信しているか。		7	学期に1回のお便りを発行している。インスタ をよくあげ、子どもたちの様子を発信してい る。	
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		7	SNSやインスタなど同意書を取るなど十分配慮 している。	
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を しているか。		7	個々に合わせた対応をしている。	
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。		7	事業所の行事に招待していないが、地域の祭り では建物、駐車場を開放している。	
非 常 時 等 の 対 応	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応 じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		7	相談があれば応じている。	
	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発 生を想定した訓練を実施しているか。		7	各委員が中心となり、訓練などを実施してい る。マニュアルも定期的に見直し改善してい る。	家族へはすべてのマニュアルを周知はできてい ない。
	53	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、 定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		7		
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認して いるか。		7	医師の指示書をもらって確認している。発作時 の対応の一覧表を室内に掲示し、送迎バック内 に入れている。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が されているか。		7		医師の指示書はないが、保護者より聞き取りを 行い対応できている。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		7	マニュアルを作成し訓練などを定期的に行って いる。必要物品を揃えている。	
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計 画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		7	利用者様全員に一斉に送信できるチャット を活用してはいる。	
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検 討をしているか。		7	ヒヤリハットが発生したら、その日の内に 報告書を作成し翌朝には、スタッフ全員に 周知徹底している。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をし ているか。		7	研修を受け、見直しの機会を持ち、適切な支援 ができるよう心掛けている。	
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決 定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発 達支援計画に記載しているか。		7	職員全員で会議を行い決定している。同意書に 記載し、説明のうえ同意を得ている。	